

限りある財源！**選択と集中**で。

まずは、市政の**基礎体力強化**を優先します。

働き盛りの**47歳**！市民のための**市民党**で！

近未来**2030年**に向けて、久世たかひろは駆け出します！

3つのビジョン

1 教育先端都市へ

～ ICT(情報通信技術)活用教育を皮切りに、
スマートシティへ！～



教育が目指すのは、現代社会で生き抜く力

- 教育の進化 IT・教育関連企業との協働による先進事例を導入
教員、保護者に向けてICT活用のフォローアップを実施
- 教育の深化 心の育ちに必要教育カリキュラムを導入
ICTの活用で、心や発達の問題にも早期アプローチ

2 高度医療が受けられる都市へ

～人生100年時代の病院は、質で考える～

地域医療体制や医療の質の向上

- 新半田病院の民営化を検討
- 目指したいモデル：藤田医科大学病院
刈谷豊田総合病院



く ぜ
久世たかひろ

47歳

3 6次産業モデル都市へ

～6次[1次(生産業)×2次(製造・加工業)×3次(サービス・販売業)]産業の興隆～

農商工連携による、新たな地場産業の創出

- 地元の豊かな食材(野菜・果物、肉、魚介)を重要資源にし、
世界に展開できる特産品の開発・販売支援
- 食品科学の研究機関・大学を誘致



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

久世たかひろは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。
2030年 世界が目指すSDGsへの理解を深めながら、
必要な行動に移します。「半田イズム」は、幸せあふ
れるまちづくりのための考え方です。

上記3つのビジョン実現のために、民間の人材を積極的に取り入れます。

◎副市長、プロジェクトリーダーを**公募**。皆様の積極応募をお待ちしております！(男女不問)

2030年を見つめ、声を聴く。 幸せ実感を真ん中においた新しい半田市へ。

半田イズム1 子どもたちは未来への懸け橋

1. 「未来を担う人づくり」の理念のもと、**子育て環境 知多半島No.1の街**を目指します。
2. 独自のカリキュラム導入を可能とし、**幼稚園・保育園の質の向上**を図ります。また早朝・延長などの預かり方や、駐車場などの送迎環境の見直しで、保護者へのサポート強化も図ります。
3. 夏休みなどの長期休暇や祝日、また子どもを取り巻く諸問題に対応できる、**子どもの居場所**（サードプレイス）づくりを推進します。
4. ファミリーサポート制度をバージョンアップさせ、**お試し無料券**を配布。子育ての「ちょっと助けてほしい！」を積極支援します。
5. クラス担任以外の**専門チームやICTの活用**で、不登校・ひきこもりの個々の状況に向き合います。
6. 小学校の**教科担任制**を進め、教員の負担を軽減します。



新たな歴史へ
いま、
半田イズムを

半田イズム2 シニアの方への感謝をカタチに

1. シニアの生きがいづくりへの投資を増強し、**健康寿命100歳**を目指します。
2. 新半田病院への半田市北部からの**救急車アクセス道路**を、開院までに整備します。
3. 超高齢化社会に向け、特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所などの**福祉施設を計画的に整備**します。
4. 新たな手段や地域特性を視野に入れた、高齢者の**移動手段の確保**を急ぎます。
5. 認知症の予防～早期発見～社会での共存生活までの**トータルケア体制**の整備を急ぎます。



ワクチン
接種の
最大迅速化

コロナ緊急対策

- ① 地域ごとにコロナ緊急サポートセンターを設置します。
相談窓口 **ワクチン接種申し込みサポート** など
- ② 半田市がコロナ禍で職を失った方を臨時雇用します。
- ③ 影響が甚大な業種・事業者を、国とは違う角度から支援します。
- ④ 自宅にこもりがちな高齢者の健康ケアを促進します。
- ⑤ コロナとの共存を前提に、市民・経済活動への支援をします。

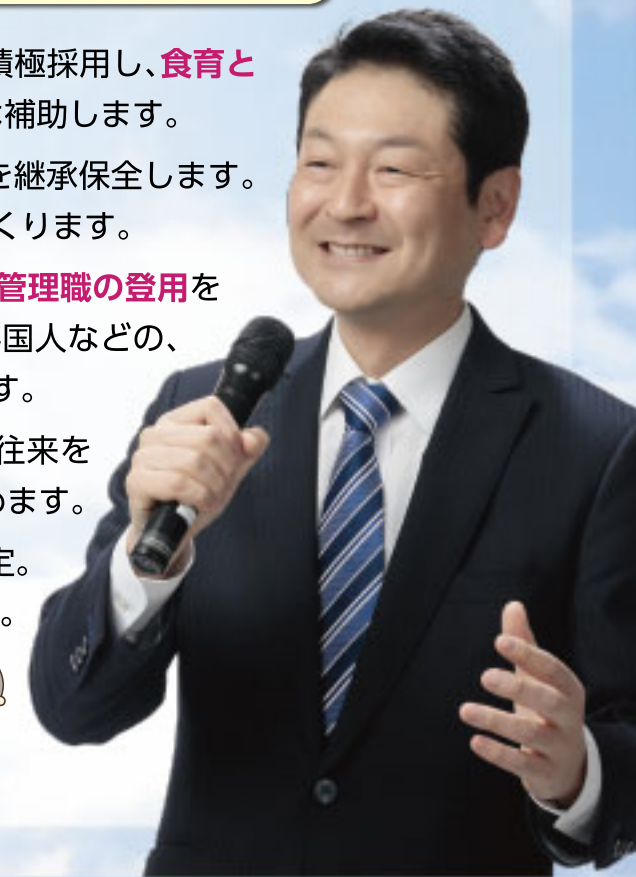
半田イズム3 暮らしを支える強い経済

1. 市長トップセールスで企業誘致に挑み、市内の**雇用を3,000人**増やします。
2. 官×民から成る常設の産業振興会議でつくる、**市独自の経済活性化策**を実行します。
3. 就職氷河期世代の非正規雇用者の正社員登用、リモートワークの導入、男性の育児休暇取得、ひとり親への働き方配慮などを促進。**労働にまつわる社会問題の解決**に寄与する事業所に一定の条件で助成をします。
4. 新規起業や業種転換を応援する**ビジネスチャレンジ制度**をつくります。
5. 1次産業専業従事者の**所得向上**を目指し、耕作放棄地の再生、AI導入、地産地消市場拡大などを支援します。



半田イズム4 暮らしを包む、まちの温もり

1. 安心安全な地産食材、郷土食を学校給食に積極採用し、**食育と地元生産者応援**をかなえます。予算超過分は補助します。
2. 「山車・蔵・南吉・赤レンガ」半田が誇る文化を継承保全します。学芸員を配置した**山車文化の発信拠点**をつくります。
3. 男女平等の観点で、まずは、市役所での**女性管理職の登用**を加速させます。LGBTQ、障がいを持つ人、外国人などの、**多様性があたりまえの共生社会**を目指します。
4. 海底トンネルの**無料化・低料金化**に挑戦。三河地域との往来をスムーズにし、**衣浦大橋の渋滞緩和**や通勤の利便性を高めます。
5. 市民活動助成金の制度に、市の課題に応じた助成率を設定。申請・相談窓口を拡充し、**市民の活動をさらに応援**します。
6. 障がいを持つ人の親なき後を見据え、生活を**地域で支える体制**をつくります。



目の前にある課題
を早急に決断し、
対応します。

防災・危機管理

- ① 災害時の資機材の拠点となる半田消防署の建て替えを検討します。
- ② 被災地へのボランティア参加を推進、現場での学びを半田市の防災に生かします。費用補助、フィードバックの仕組みなど、関係制度の整備を急ぎます。
- ③ 自主防災活動を支援し、共助の体制づくりを急ぎます。

ごみ減量問題と協力還元策

- ① ごみ減量を強く掲げ推進します。埋立て地の問題、持続可能な社会をめざすために急務な行政課題です。
- ② **指定ごみ袋の無料配布**（世帯への基礎配布方式を検討）をします。市民のごみ減量協力への還元とし、一定の条件を設けます。

久世たかひろについて、少し。



久世孝宏
プロフィール

昭和49年 名古屋市千種区に生まれる(47歳)
平成9年 名古屋大学 工学部 卒業
平成12年 名古屋大学 大学院 修了
株式会社 東海理化入社
平成19年 同社退社 県会議員 加藤精重(義父)の秘書に就く
半田市議会議員 初当選(32歳) 以降4期当選
※2・3・4期はいずれもトップ当選

- 家族/妻、子ども4人
[長男(高2)・長女(中3)・次男(小6)・次女(小2)]
- 趣味/テニス、野球観戦
- 政治信条/やれない理由より、こうしたらできる。

生まれは名古屋です 子育てを機に、妻の故郷 半田に移り住みました

半田はとってもいい街です!
街に文化や歴史がある。何より人が温かい。
自然の恵みいっぱいの知多半島も大好きです。
移り住んだ人間だからわかる、この地の魅力に取り憑かれた
半田マニアです。
この街の可能性に、人生を賭けてみたい!
だから私は、半田市のリーダーを目指します。

父たち

元教師の実父。
かつては、半田特別支援学校に教頭として赴任していました。
私が教育や福祉の問題に自ずと関心を寄せたのも、父の影響かなと
感じます。長生きして欲しいです。
そして、半田の義父。
すでに他界していますが、政治の道を志すきっかけをくれた人。
バイタリティとは、を背中で語ってくれた人。
子どもたちのいいおじいちゃんでした。

4人の子育て奮闘中

小2~高2、4人の子育て真っ只中です。
子育ては多くの人が通る道ですし、それぞれの家庭にそれぞれ
大変さはありますよね。我が家も然りです。
共働きのため、買い出しや食事の準備、子どもの送迎などの家事
分担はしています。時代とともに変化してもいい、男性の役割や
働き方。真の男女平等について取り組みたいです。



久世たかひろ 後援会のご案内

「リアルな声」を
お聞かせください。 **小さな座談会を
随時開催**

みなさまのご意見、ご要望をお聞かせいただくための座談会を随時開催しています。
お気軽にお声掛けください。

【久世たかひろ後援会会則抜粋】 目的:本会は久世たかひろの政治活動を後援し、地域社会の発展を図ることを目的とします。会員:本会の趣旨に賛同するものをもって組織します。

SNS や 動画 も公式サイトからご覧になれます。

Facebook Instagram Twitter YouTube 公式LINE



後援会ご入会のお願い

事務局へお電話下さるか、HPよりお申し込みください。

後援会事務局

TEL&FAX:0569-22-9118

久世たかひろ 公式サイト ▶▶▶

https://t-kuze.com 久世たかひろ 半田

